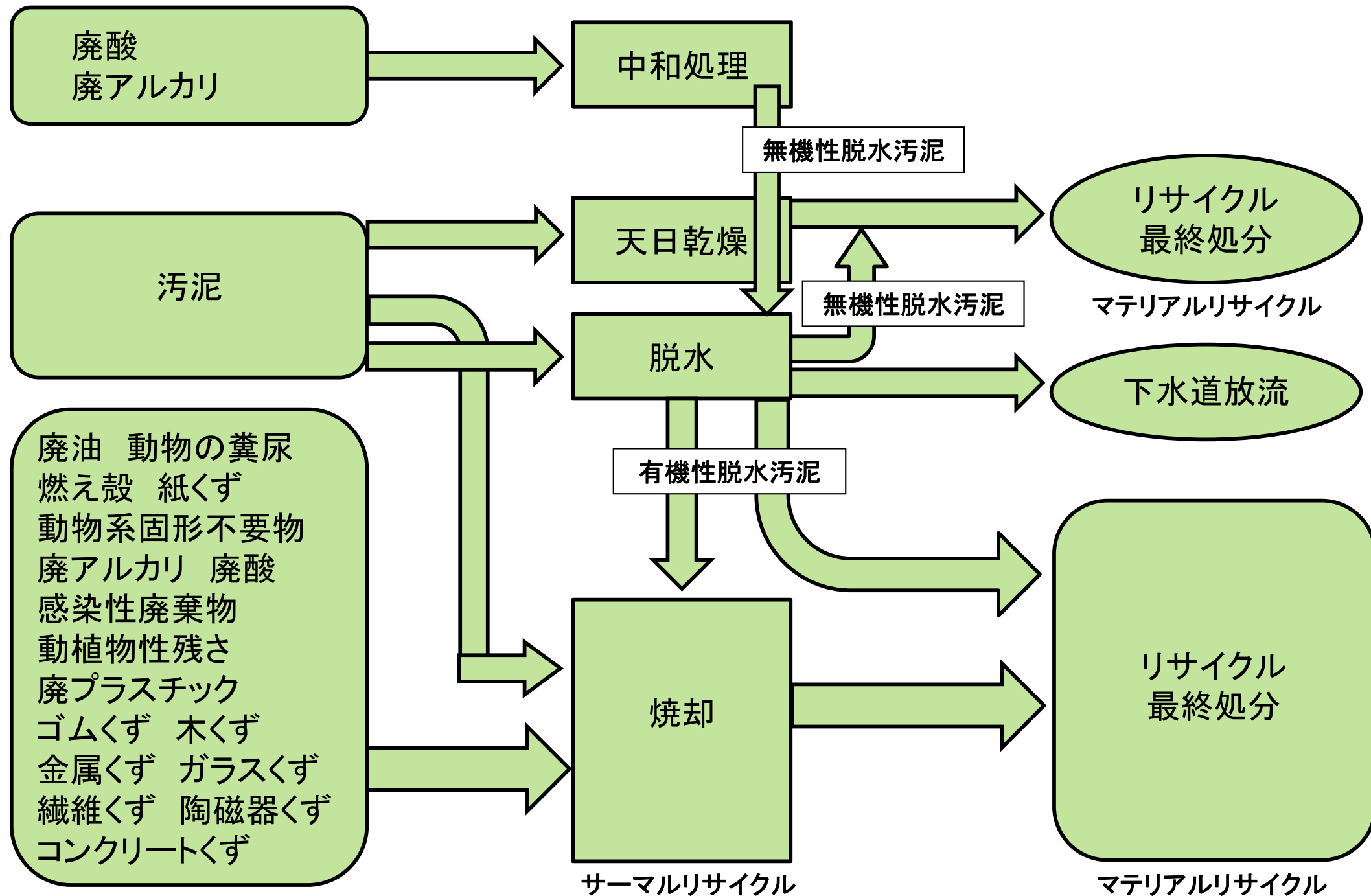
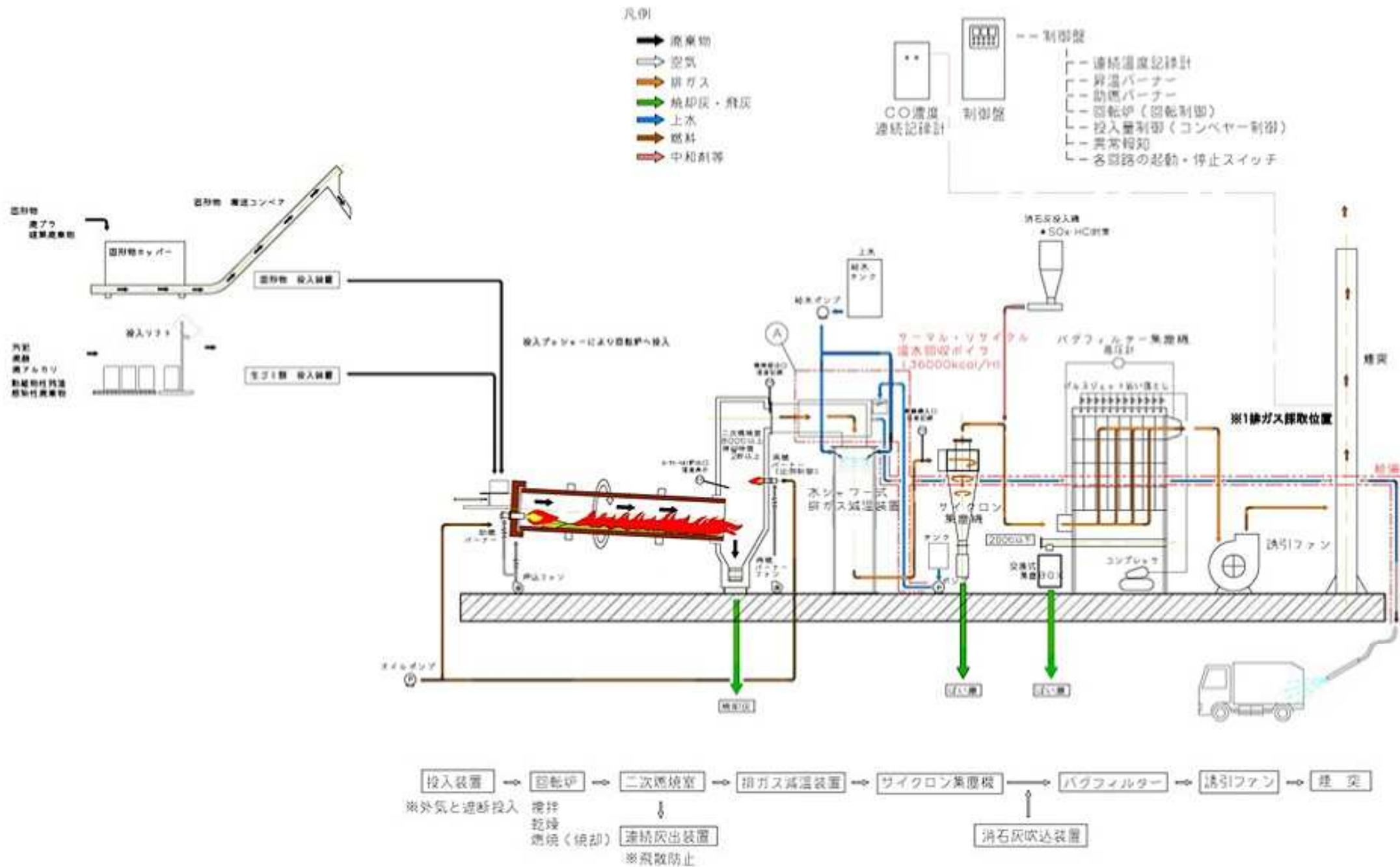


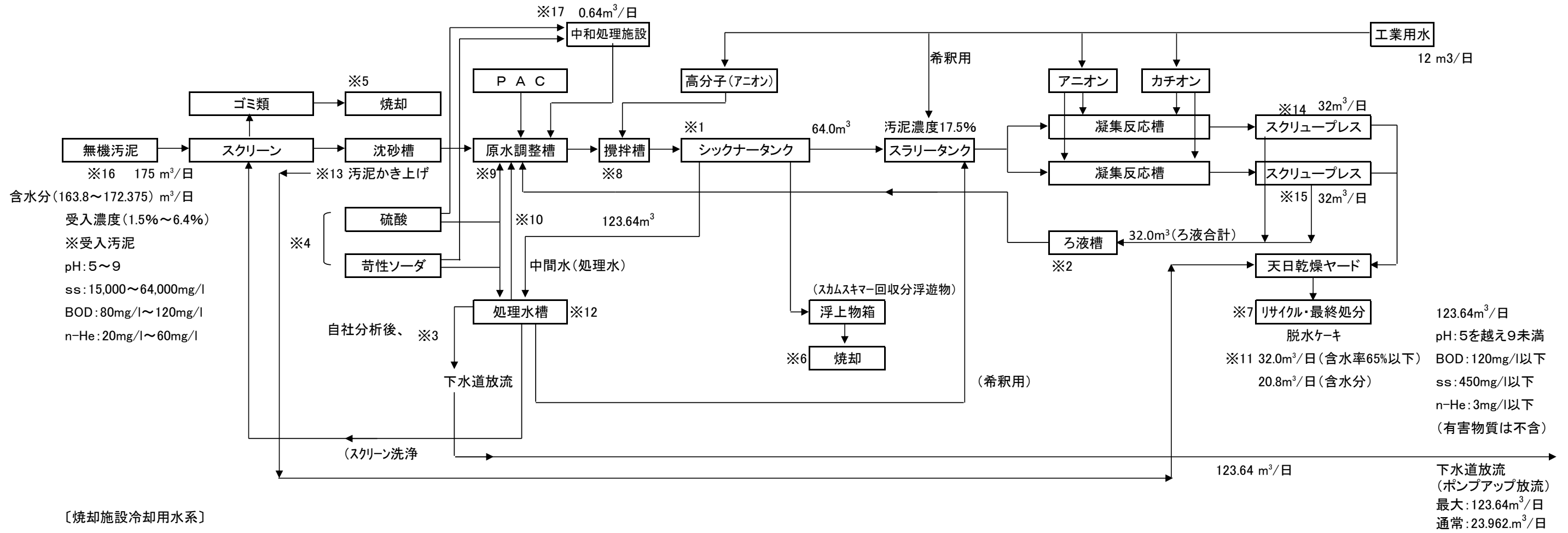
エコミュージアム21



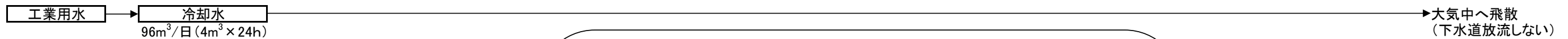
鈴木工業株式会社 廃棄物焼却装置処理フロー図 (サーマル・リサイクル施設)



〔脱水処理系:無機汚泥脱水処理施設〕

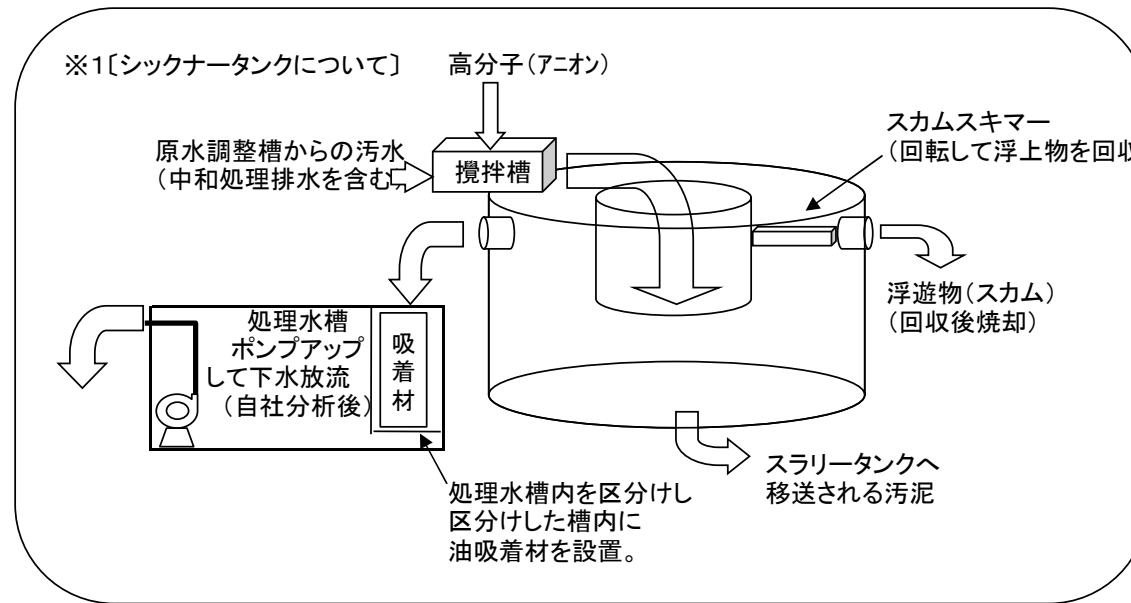


〔焼却施設冷却水系〕



- ※1 [シクナータンクについて]参照のこと。
- ※2 ろ液水質向上のため原水調整槽へ投入する。
- ※3 処理水は自社分析終了後、下水道放流する。
スラリーの希釈及びシクナータンクへの濃度調整に使用する。
- ※4 下水放流監視及び原水調整槽のpH調整を行うために設置する。(pH調整)
- ※5 専用ヤードから適宜ローダーにより搬出、焼却処理する。ゴミ分からの汚水流出防止のため側溝が設置してあり、汚水分はスクリーンへ返送する。
- ※6 浮遊物箱はフォークリフトにより焼却炉へと移送し、浮遊物は焼却処分する。
- ※7 専用ヤード(脱水後天日乾燥汚泥)から適宜ローダーによりダンプへ積み替え、他社リサイクル施設が最終処分する。ケーキからの汚水流出防止のため側溝が設置してあり、汚水分はスクリーンへと返送する。
- ※8 攪拌槽は原水調整槽からポンプアップされると自動的に攪拌機が稼働する。
- ※9 原水調整槽内は汚泥とPACとを均一にするため攪拌ミキサーで槽内を攪拌する。
- ※10 自社分析の結果、放流に不適な場合は、処理水槽戻送用ポンプにて原水調整槽へ返送する。
- ※11 含水率が65%以下となる。
- ※12 処理水槽内にはブロワーが設置してあり、曝気を行う。
- ※13 槽内の状況を見ながらバックホウにて不定期で汚泥のかき上げ(槽内清掃)を行う。
- ※14 洗浄方法: 停止後凝集反応槽の上澄水30~40Lを利用して洗浄する。(1回/日)
- ※15 洗浄方法: 停止後工業用水540L(最大)を利用して洗浄する。(1回/日)
- ※16 最大処理量ではなく、最大受入量を見直したことになるもの。
- ※17 中和施設の処理排水と生成汚泥の排出先を原水調整槽とする。

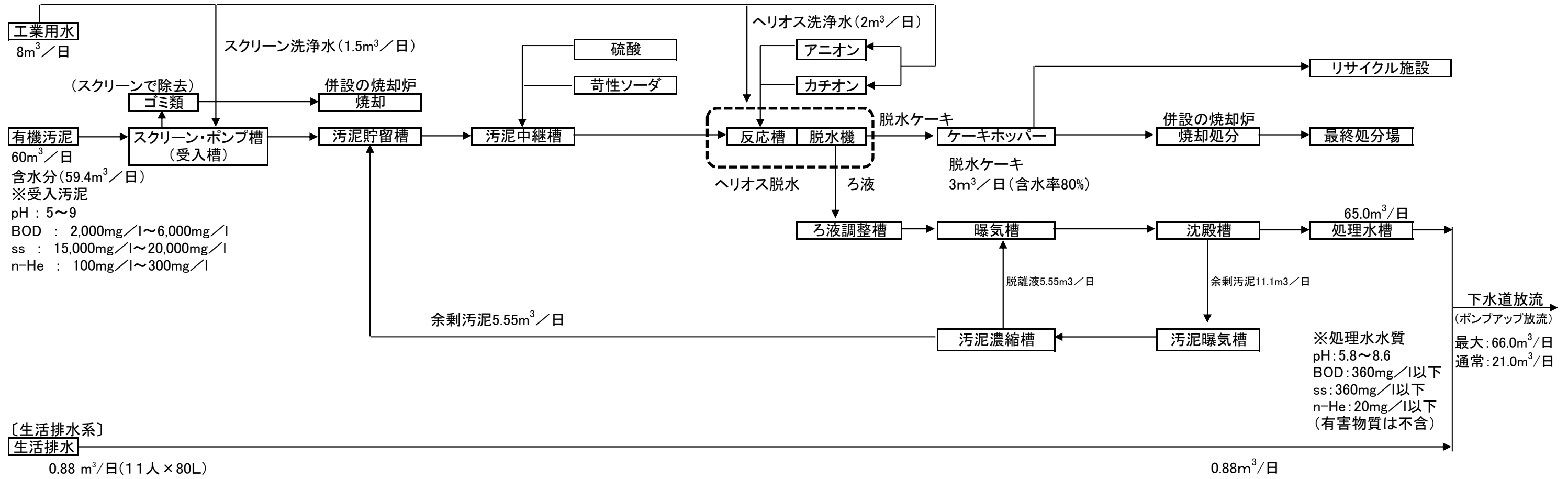
別記1 外部ストックヤードは洗浄しない。



設備名	槽内容量(m3)
スクリーン	18.15
沈砂槽1	46.20
沈砂槽2	46.20
原水調整	50.40
シクナー	40.00
スラリー	20.00
処理水槽	48.60
	269.55

有機処理施設概要フロー図

(脱水処理系: 有機汚泥脱水処理施設)



汚泥処理施設 各槽容積一覧表

名称	縦(m)	横(m)	高さ(m)	容積(m ³)
受入槽	3.6	2.0	2.5	18.2
ポンプ槽	3.6	2.5	1.5	13.5
汚泥貯留槽1	5.0	4.8	4.5	108.0
汚泥貯留槽2	5.35	5.3	4.5	127.6
汚泥貯留槽3	5.35	5.3	4.5	127.6
ろ液調整槽	5.0	5.3	3.0	79.5
曝気槽	5.6	10.4	4.3	250.4
沈殿槽	2.5	5.0	3.2	39.4
処理水槽	1.8	2.5	2.5	11.3
汚泥槽	4.8	2.0	4.5	43.2
汚泥濃縮槽	2.0	2.0	3.7	14.8

記号	名称
☒	手動ボールバルブ
Ⓜ	ミキサー
Ⓟ	PH計 (指示調節)
Ⓟ	ポンプ
Ⓧ	フロート式レベル計
Ⓧ	温度計

★バッチ式中和処理工程★

① 流入口用かぶせ蓋を開ける



- 廃液をハンディポンプでタンクへ手動投入

② 中和処理ランプ点灯



- 中和処理槽レベル計Hレベルで感知
- ハンディポンプを停止する
- 廃液投入しすぎの時→満水警報

③ 処理開始スイッチを押す



- 中和槽攪拌機動作
- 酸ポンプ・アルカリポンプがpHの設定範囲外で自動ON/OFF
- 中和監視タイマー動作 (2時間)

④ 中和処理中



- pHが設定範囲内→滞留タイマー (5分) 動作
- 監視タイマー終了後、pHが設定範囲外→pH異常警報
- 温度が設定温度以上時→温度異常警報
- 監視タイマー動作中は滞留タイマーが動作後にpH値が設定範囲外になっても再度自動中和処理開始その後、pHが設定範囲内で再度滞留タイマー動作 (5分)

⑤ 中和処理ランプ消灯



- 滞留タイマーがタイムアップ且つ、pHが範囲内
- 中和槽攪拌機自動停止
- 放流待機状態

⑥ 放流開始ランプ点灯



- pH値が設定範囲内である事を確認
- 放流ボールバルブを手動で「開」にする

⑦ 放流開始スイッチを押す



- 放流スイッチONで送液ポンプが動作開始

⑧ 放流開始ランプ消灯



- 中和処理槽レベル計Lレベルでポンプ動作OFF、放流開始ランプ消灯
- 放流ボールバルブを手動で「閉」にする

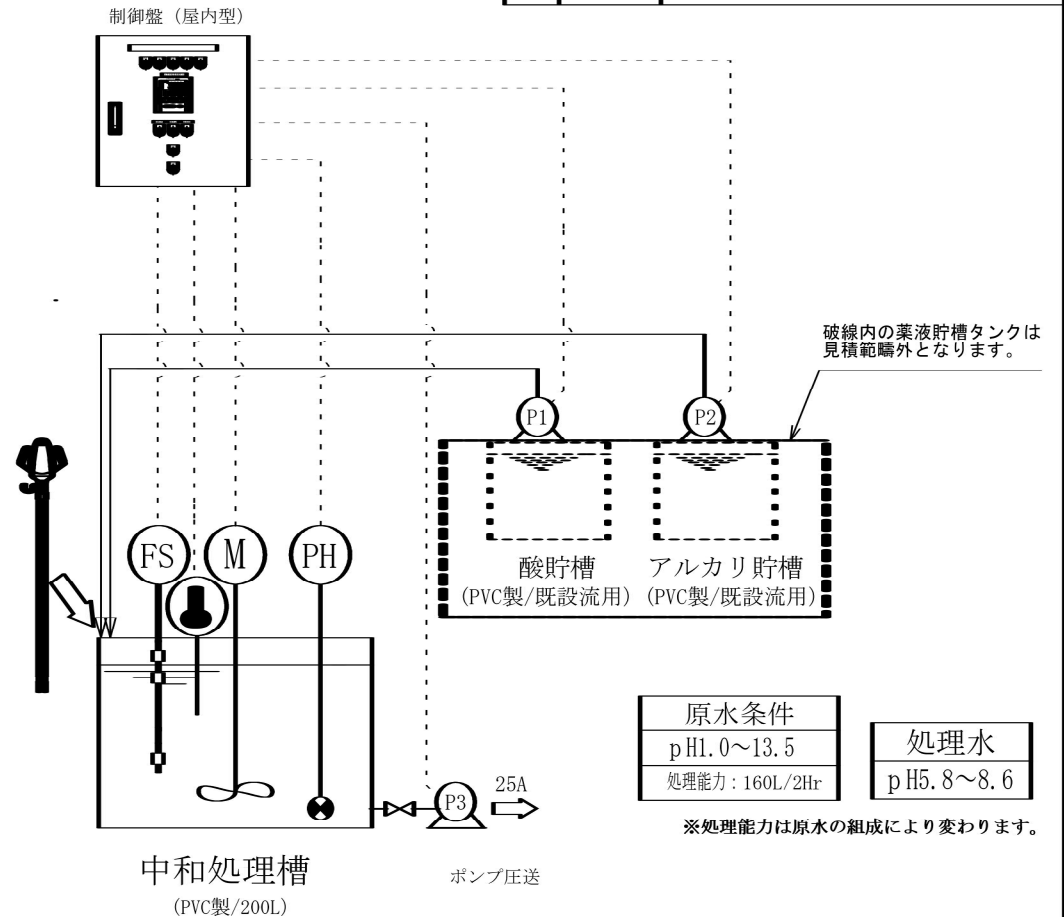
⑨ 処理工程がリセットされる



- 放流後、処理工程ランプ消灯及び各スイッチ停止

⑩ 中和処理待機

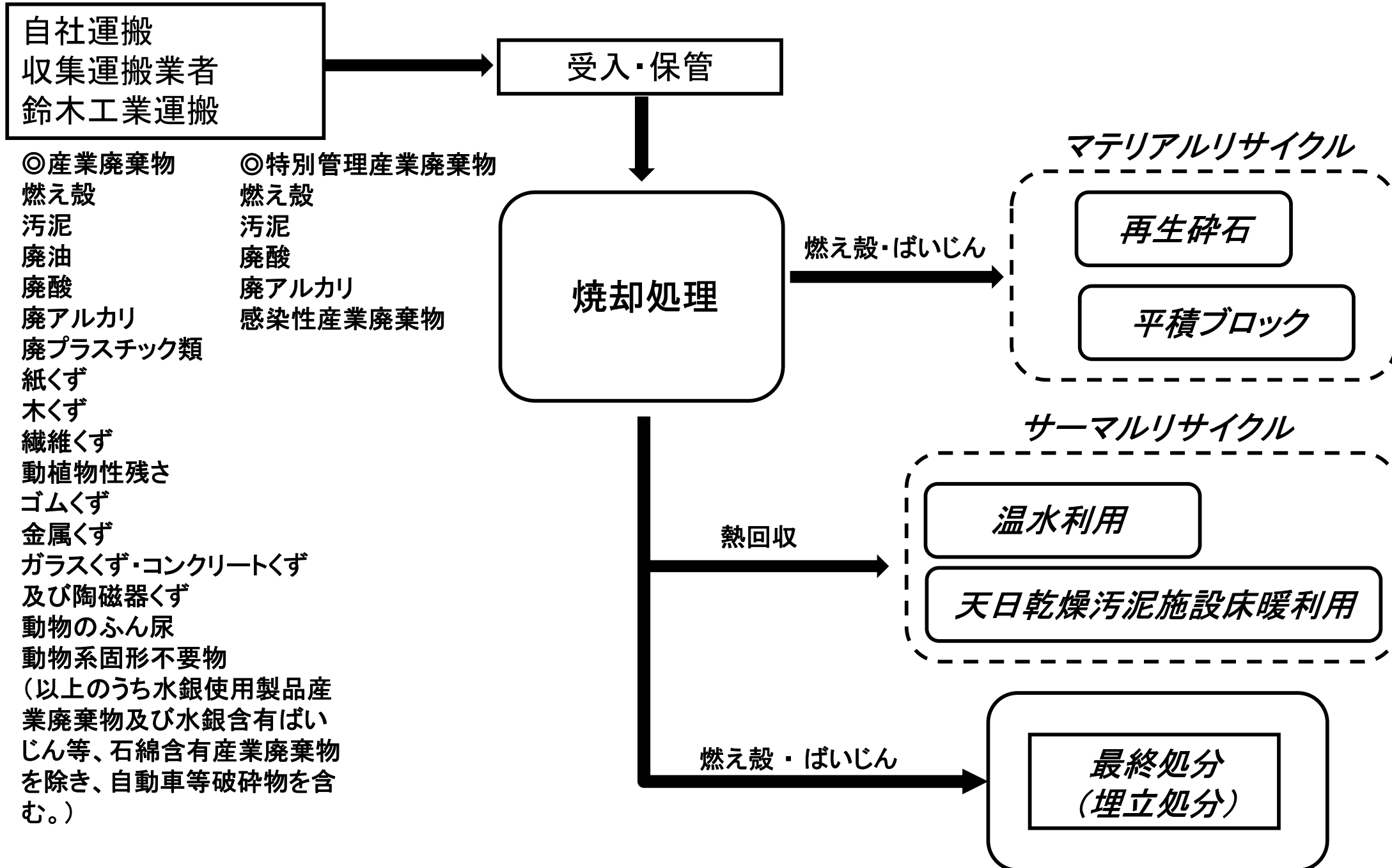
- 中和処理槽処理開始レベルまで待機



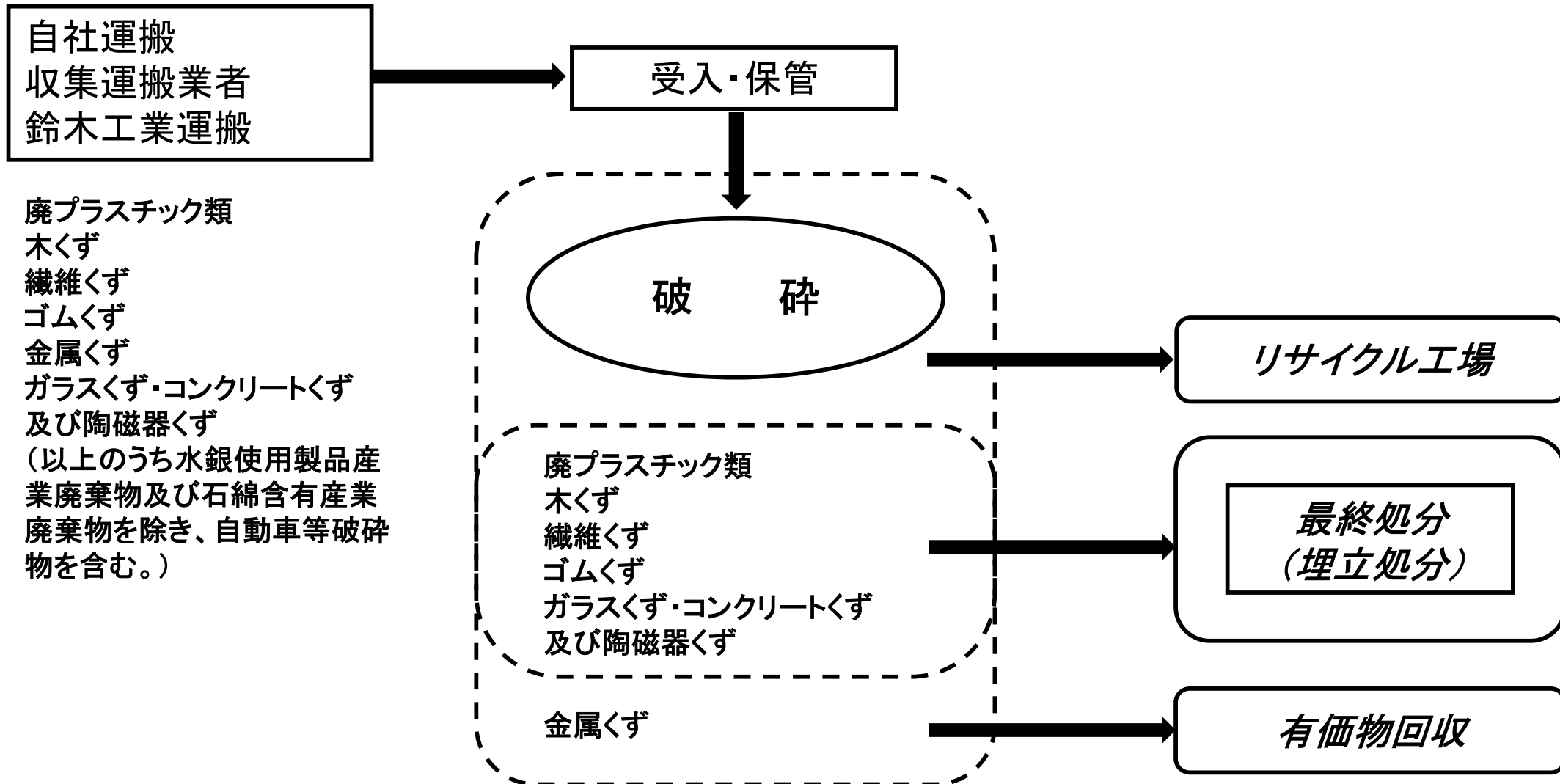
番号	年月日	記
rev1	2022. 12. 14	原水pH値変更
rev2	2022. 12. 15	フロー内容追加
rev3	2023. 5. 15	処理工程内容変更、盤面変更
rev4	2023. 5. 18	処理工程、フロー図の大きさ変更

名称: NAME	バッチ式小型中和装置フロー図		
型式: MODEL	TPH-2-B-SP (酸/アルカリ注入)		
承認: APPD	検図: CHKD	設計: DESIN	製図: DRAWN
図面番号: DRAWIN NO.	仕様書番号: SPECIFICATIONS NO.		
	GC00089		
尺度: SCALE	NOT	日付: DATE	2023. 11. 20

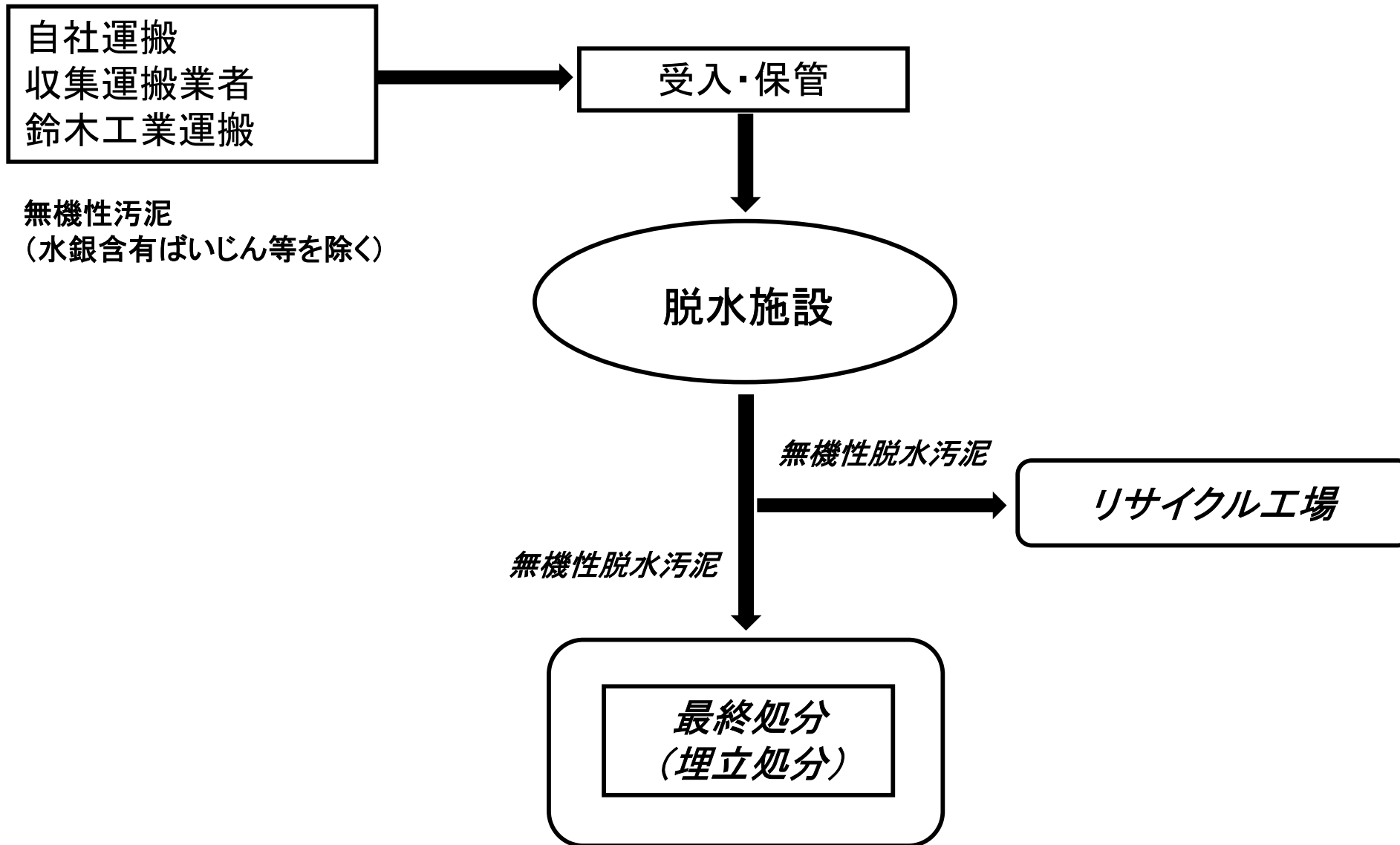
焼却施設



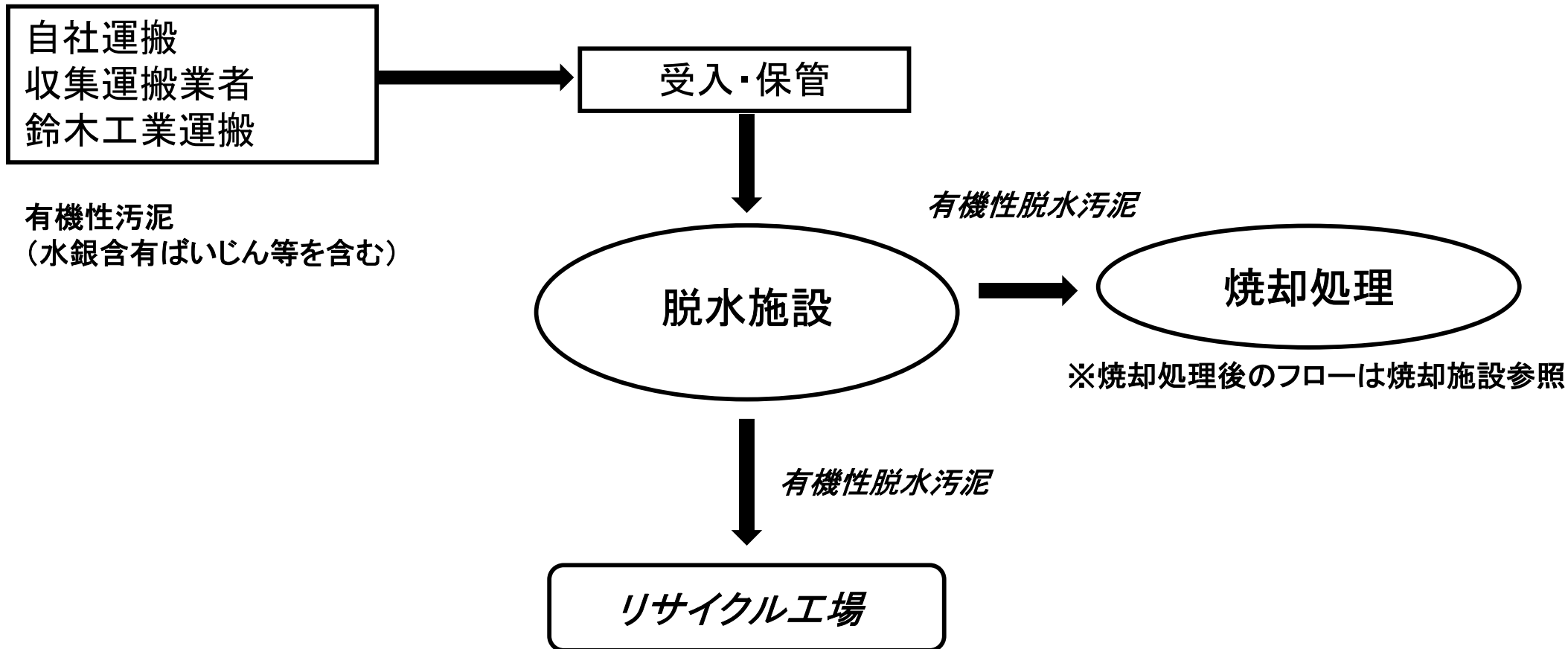
破碎施設



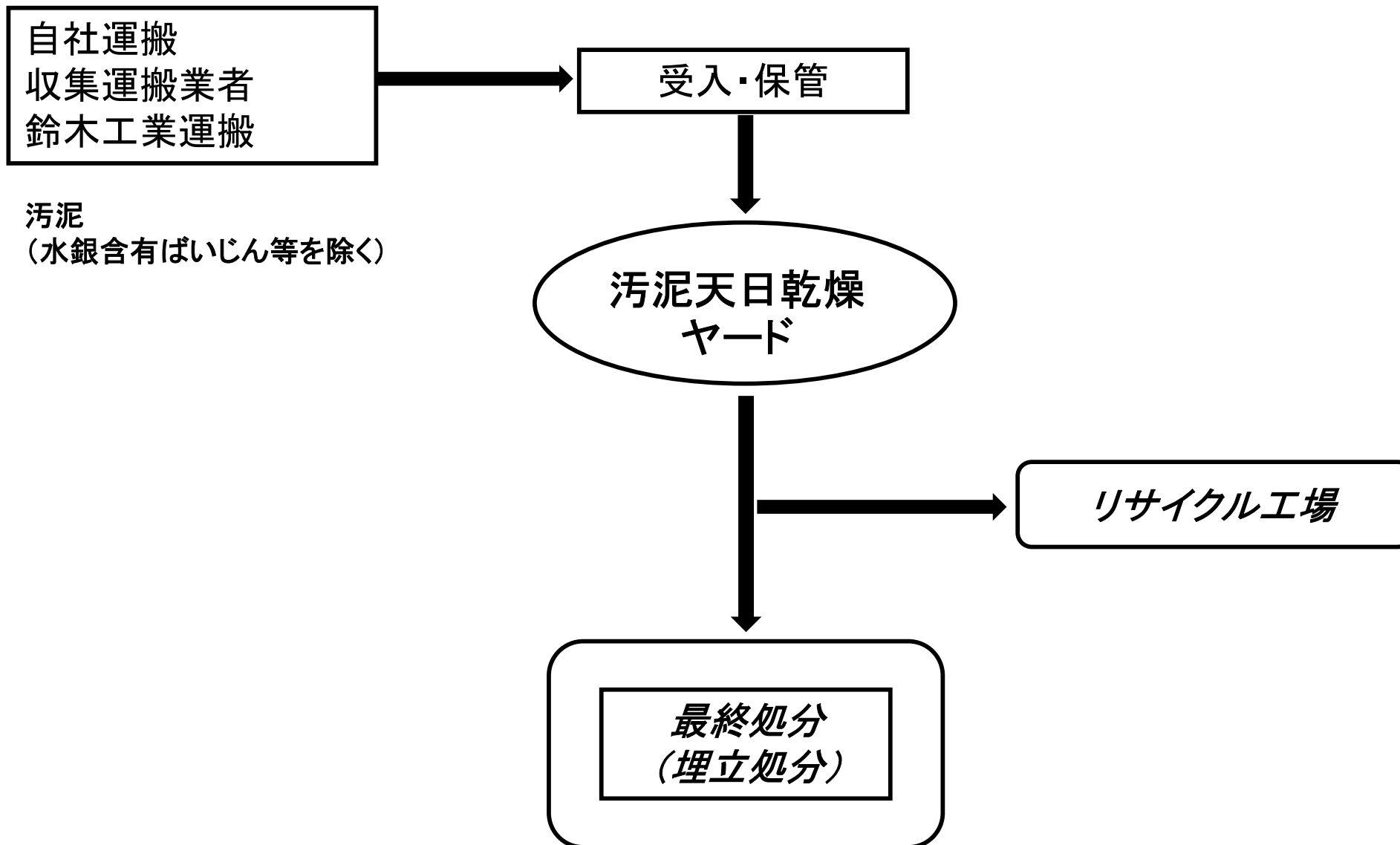
脱水施設



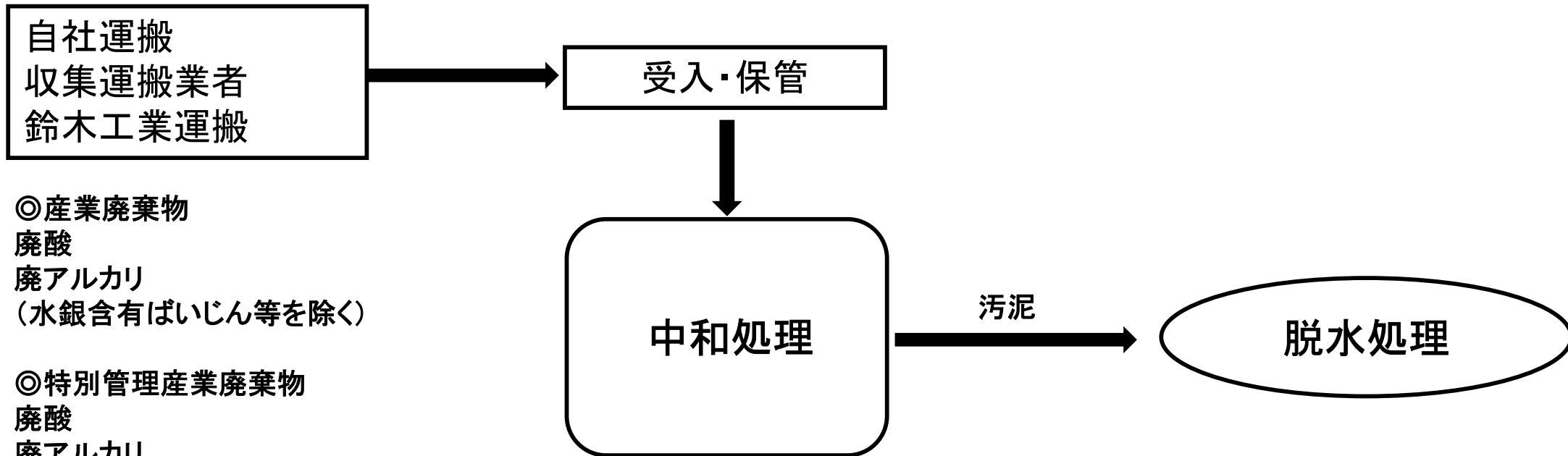
脱水施設



天日乾燥施設



中和施設

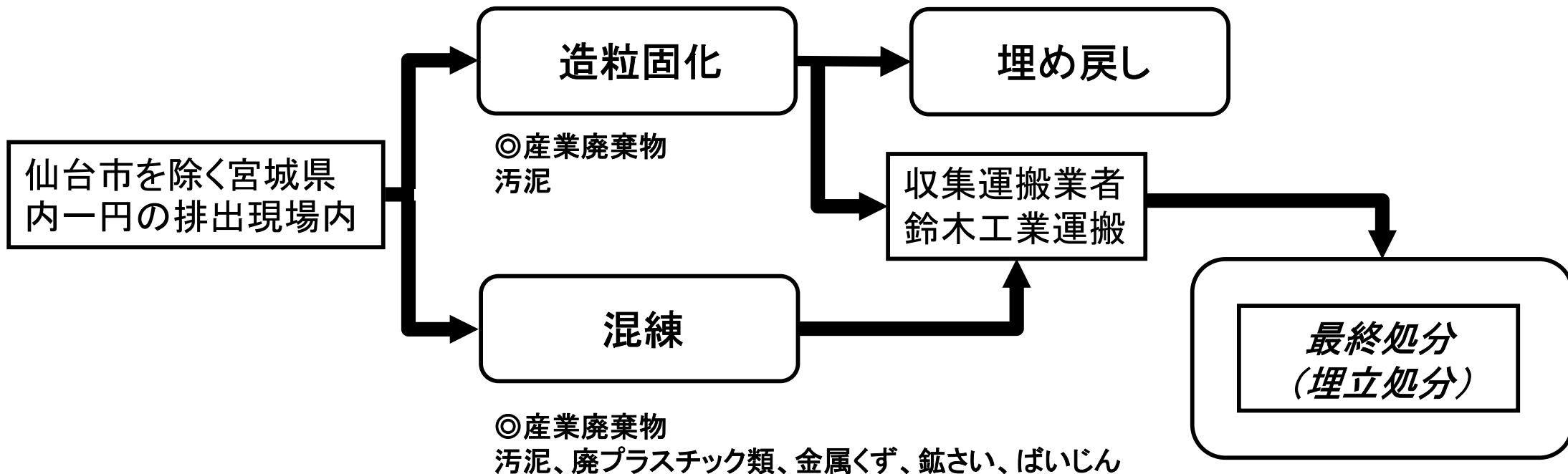


◎産業廃棄物
廃酸
廃アルカリ
(水銀含有ばいじん等を除く)

◎特別管理産業廃棄物
廃酸
廃アルカリ

※中和処理後のフローは
脱水施設(無機汚泥)参照

移動式造粒固化・混練施設



◎特別管理産業廃棄物
鉱さい(廃サンドブラスト材であって、鉛又はその化合物を含むことのみにより有害なものに限る。)

ばいじん(水銀若しくはその化合物又は鉛若しくはその化合物を含むことのみにより有害なものに限る。)